

【SRA Holdings】Special Mail (No.259) 2026 年 8 月

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の小熊です。

本日、2027 年 3 月期第 1 四半期決算を発表しました。併せて、「決算付属資料」、「2026 年 7 月次売上高速報」も発表しました。今回の発表の要点は以下の通りです。詳細は発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2027 年 3 月期 第 1 四半期業績(連結)前年同期比〕

■売上高=減収

■収益=「売上総利益」「営業利益」は減益、「経常利益」「四半期純利益」は増益

◎売上高:124 億 55 百万円(前年同期比 13.0%減)

・開発事業(11.2%増):金融業・製造業向けが増加

・運用・構築事業(2.4%増):金融業向けが増加

・販売事業(36.0%減):金融業向け大口案件の反動減(AIT)

◎粗利益:31 億 24 百万円(同 2.9%減)

◎販売管理費:13 億 99 百万円(同 2.3%増)

◎営業利益:17 億 25 百万円(同 6.7%減)

◎経常利益:20 億 16 百万円(同 17.4%増)

◎四半期純利益:12 億 21 百万円(同 7.6%増)

〔2026 年 7 月 月次売上高〕

(株)SRA=単月で前年比大幅増加、累計で前年比増加

(株)AIT=単月で前年比大幅増加、累計では前年比大幅減少

国内子会社=単月・累計とも前年比大幅増加

海外子会社=単月・累計とも前年比大幅増加

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2026.html

第 1 四半期の売上高につきましては、開発事業で前年同期比大幅増加、運用・構築事業で増加したものの、販売事業で大幅減少となったため、12,455 百万円(前年同期比 13.0%減)となりました。

なお、販売事業における売上減少要因は、AIT において昨年 4 月に 27 億円超の大型販売案件があった反動減によるものですが、5 月および 6 月の単月売上高は前

年を上回って推移しており、第 1 四半期における売上高の前年比減少率は、4 月の△63.5%から、5 月は△49.4%、6 月は△35.4%に改善しました。

損益面におきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益は 3,124 百万円(前年同期比 2.9%減)、営業利益は 1,725 百万円(同 6.7%減)となりました。

売上の減少幅(13.0%減)に比べると、各利益とも減少幅は小幅にとどまっております。これは、相対的に利益率の低い販売事業の売上高が減少した一方で、利益率の高い開発事業や運用・構築事業での売上拡大や採算性の高いビジネスへのシフトを推進したことによるものであり、売上総利益率は 22.5%から 25.1%、売上高営業利益率は 12.9%から 13.9%に前年同期比向上しております。

経常利益につきましては、上記に加え、前年同期に為替差損 250 百万円を計上していたのに対し、当四半期は逆に円安によって為替差益 174 百万円を計上したこと等により、前年同期比 298 百万円増の 2,016 百万円(同 17.4%増)となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比 85 百万円増の 1,221 百万円(同 7.6%増)となりました。

7 月の売上高につきましては、(株)SRA では、金融業向け開発ビジネスの好調を主因に単月で前年比大幅増加となり、累計での前年比増加を拡大しております。(株)AIT においては、7 月についても単月で前年比 2 ケタの増加となり、7 月時点での累計売上高の前年比減少率は、△30.5%まで低減しております。国内子会社は単月・累計ともに前年比 10%以上増加しており、引き続き順調かつ安定的に推移しております。海外子会社につきましては、中国子会社におけるオフショア開発の好調が継続しております。

今後もグループ一丸となり、受注・売上の拡大を目指すとともに、収益性の向上に努めてまいります。皆様には引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上